

实践算命学中辞典

实践算命学研究会 編

【あ】	25
上羽の型（あげはのかた）	25
跡取り天中殺（あととりてんちゅうさつ）	25
争いごと占技（あらそいごとせんぎ）	25
暗合（あんごう）	26
【い】	28
亥（い）	28
異気集合論（いきしゅうごうろん）	28
異座運（いざうん）	29
異座縁（いざえん）	30
異次元不渡りの法（いじげんふわたりのほう）	30
異常干支（いじょうかんし）	30
位相法（いそうほう）	35
委託占技（いたくせんぎ）	37
一代運（いちだいうん）	38
一季運（いっきうん）	38
一極二元論（いっきょくにげんろん）	39
一点増幅（いってんぞうふく）	39
戌（いぬ）	39
戌亥天中殺（いぬいてんちゅうさつ）	40
戌亥生月中殺（いぬいせいげつちゅうさつ）	41
戌亥生年中殺（いぬいせいねんちゅうさつ）	42
陰干（いんかん）	43
陰気（いんき）	43
陰支（いんし）	43
陰生（いんせい）	43

陰占 (いんせん)	43
陰占法 (いんせんほう)	43
陰転 (いんてん)	49
陰道占技 (いんどうせんぎ)	49
陰遁害 (いんとんがい)	53
陰鍊 (いんれん)	53
陰陽五行説 (いんようごぎょうせつ)	54
陰陽説 (いんようせつ)	54
陰陽曆 (いんようれき)	54
【う】	55
卯 (う)	55
丑 (うし)	55
友情剋 (うじょうこく)	55
午 (うま)	55
宇宙盤 (うちゅうばん)	56
午未天中殺 (うまひつじてんちゅうさつ)	56
午未生月中殺 (うまひつじせいげつちゅうさつ)	57
午未生年中殺 (うまひつじせいねんちゅうさつ)	58
裏干支 (うらかんし)	59
裏福 (うらふく)	59
運命 (うんめい)	59
運命天中殺 (うんめいてんちゅうさつ)	60
雲龍型運型 (うんりゅうがたうんけい)	60
【え】	61
洩気 (えいき)	61
洩気過多 (えいきかた)	61
遠天空 (えんてんくう)	61

円盤法（えんばんほう）	61
【お】	65
旺干（おうかん）	65
旺気刑（おうきけい）	65
旺相休囚死法（おうそうきゅうしゅうしほう）	66
乙（おつ）	68
乙木（おつぼく）	69
表干支（おもてかんし）	69
親縁占技（おやえんせんぎ）	69
【か】	73
回座（かいざ）	73
回座年（かいざねん）	73
外次元（がいじげん）	73
回展年（かいてんねん）	74
害法（がいほう）	74
鑑引き（かがみびき）	77
角運の型（かくうんのかた）	77
格法（かくほう）	78
火庫（かこ）	113
過多（かた）	113
花袋運（かたいうん）	114
活木（かつぼく）	115
葛藤の占技（かつとうのせんぎ）	115
家庭運占技（かていうんせんぎ）	116
火土万世（かどばんせい）	117
華乱運（からんうん）	117
花龍運（かりゅううん）	118

加流禍現象（かりゅうかげんしょう）	118
干合法（かんごうほう）	118
干合支害（かんごうしがい）	122
干合支刑（かんごうしけい）	123
干合支合（かんごうしごう）	124
貫索星（かんさくせい）	126
貫索星中殺（かんさくせいちゅうさつ）	130
官殺混雜運（かんさつこんざつうん）	131
干支（かんし）	131
間接神論（かんせつしんろん）	133
間占（かんせん）	134
完全犯罪の型（かんぜんはんざいのかた）	134
間断の気（かんだんのき）	134
【き】	135
癸（き）	135
己（き）	135
箕型の運（きけいのうん）	135
気心体（きしんたい）	136
癸水（きすい）	136
気凶法（きずほう）	136
奇星（きせい）	139
基段占技（きだんせんぎ）	139
己土（きど）	143
鬼門線（きもんせん）	144
鬼仏混淆（きぶつこんこう）	144
鬼仏同宮（きぶつどうぐう）	145
逆縁結婚（ぎゃくえんけつこん）	145

逆旬（ぎゃくじゆん）	145
脚下崩壊の型（きゃっかほうかいのかた）	146
逆剋（ぎゃっこく）	146
貴幼法（きようほう）	146
虚居の型（きよいのかた）	154
挟格（きょうかく）	154
郷害（きょうがい）	155
共通干支（きょうつうかんし）	155
虚気（きよき）	161
玉堂星（ぎよくどうせい）	161
玉堂星中殺（ぎよくどうせいちゅうさつ）	164
局法（きよくほう）	165
金水傷官（きんすいしょうかん）	191
近天空（きんてんくう）	191
金白水清（きんぱくすいせい）	191
金龍運（きんりゅううん）	191
【く】	192
空凝冲論（くうぎちゅうろん）	192
空中分解の型（くうちゅうぶんかいのかた）	192
九流の術士（くりゅうのじゅつし）	193
【け】	194
奎運の型（けいうんのかた）	194
傾斜法（けいしゃほう）	194
刑法（けいほう）	194
系羅運（けいらうん）	195
月運（げつうん）	196
月運天中殺（げつうんてんちゅうさつ）	196

月干（げっかん）	197
月干干合（げっかんかんごう）	197
月干支（げっかんし）	197
結婚占技（けっこんせんぎ）	198
月支（げっし）	214
月支暗合（げっしあんごう）	215
月支元命（げっしげんめい）	215
牽牛星（けんぎゅうせい）	215
牽牛星中殺（けんぎゅうせいちゅうさつ）	218
現実才能領域（げんじつさいのうりょういき）	219
原典算命学大系（げんてんさんめいがくたいけい）	220
【こ】	221
甲（こう）	221
庚（こう）	221
亢運の型（こううんのかた）	221
庚金（こうきん）	221
後継運（こうけいうん）	222
光体（こうたい）	222
広単法（こうたんほう）	223
後天運（こうてんうん）	224
後天次元（こうてんじげん）	224
行動領域（こうどうりょういき）	225
合法（ごうほう）	225
甲木（こうぼく）	225
孤縁（こえん）	225
互換中殺（ごかんちゅうさつ）	225
庫気刑（こきけい）	226

五行（ごぎょう）	228
五行諸類考（ごぎょうしよるいこう）	228
五行説（ごぎょうせつ）	232
心（こころ）	232
子座（こざ）	233
五山修法（ござんしゅうほう）	233
五徳（ごとく）	233
呉仁和（ごじんわ）	234
五体六根（ごたいろっこん）	234
五分類（ごぶんるい）	235
五本能（ごほんのう）	235
五欲（ごよく）	236
【さ】	239
葵型家族（さいけいかぞく）	239
妻座（さいざ）	239
妻座暗合の型（さいざあんごうのかた）	239
妻座崩壊の型（さいざほうかいのかた）	240
妻妾同宮運（さいしょうどうぐううん）	240
才人（さいじん）	240
歳星（さいせい）	241
才能占技（さいのうせんぎ）	241
才能領域（さいのうりょういき）	258
最身強（さいみきょう）	258
最身弱（さいみじゃく）	258
座下（ざか）	258
座気論（ざきろん）	258
坐型（ざけい）	259

雑気（ざっき）	259
申（さる）	259
申酉天中殺（さるとりてんちゅうさつ）	259
申酉生月中殺（さるとりせいげつてんちゅうさつ）	261
申酉生年中殺（さるとりせいねんちゅうさつ）	261
三気立（さんきりつ）	262
参型の運（さんけいのうん）	262
三合会局（さんごうかいきょく）	264
三業干支（さんごうかんし）	265
三歳昇降運（さんさいしょうこううん）	267
三焦（さんしょう）	267
三大奇星（さんだいきせい）	267
参天期（さんてんき）	268
参天論（さんてんろん）	268
三分法（さんぶんほう）	268
算命学（さんめいがく）	276
【し】	281
四季盤（しきばん）	281
自刑（じけい）	281
支合法（しごうほう）	283
時代論（じだいろん）	287
七五三（しちごさん）	290
実気（じっき）	290
湿土（しつど）	290
四転回座（してんかいざ）	290
死木（しばく）	291
車騎星（しゃきせい）	292

車騎星中殺（しゃきせいちゅうさつ）	295
若年期（じゃくねんき）	296
四有論（しゅうろん）	296
従格（じゅうかく）	296
十大主星（じゅうだいしゅせい）	297
十大主星天中殺（じゅうだいしゅせいてんちゅうさつ）	325
集団占技（しゅうだんせんぎ）	325
習得本能（しゅうとくほんのう）	326
十二支（じゅうにし）	326
十二大従星（じゅうにだいいじゅうせい）	328
十二大従星中殺（じゅうにだいいじゅうせいちゅうさつ）	331
重土（じゅうど）	332
宿核（しゅくかく）	332
宿命（しゅくめい）	332
宿命害（しゅくめいがい）	333
宿命三合会局（しゅくめいさんごうかいきょく）	333
宿命支合（しゅくめいしごう）	333
宿命对冲（しゅくめいたいちゅう）	333
宿命大半会（しゅくめいだいはんかい）	333
宿命天中殺（しゅくめいてんちゅうさつ）	333
宿命納音（しゅくめいなっちん）	334
宿命日干干合（しゅくめいにつかんかんごう）	334
宿命半会（しゅくめいはんかい）	335
宿命律音（しゅくめいりっちん）	335
守護神（しゅごしん）	335
守護神法（しゅごしんほう）	335
十干（じゅっかん・じっかん）	364

十干求道（じゅつかんきゅうどう）	365
十方世界（じゅっぽうせかい・じっぽうせかい）	381
守備本能（しゅびほんのう）	381
旬（じゅん）	381
順剋（じゅんこく）	381
順旬（じゅんじゅん）	381
純星（じゅんせい）	382
生气（しょうき）	382
生气干支（しょうきかんし）	382
情の断ち切り方占技（じょうのたちきりかたせんぎ）	382
職業方位（しょくぎょうほうい）	383
女系家族（じょけいかぞく）	384
初旬（しょじゅん）	384
初旬条件占技（しょじゅんじょうけんせんぎ）	384
初代運（しょだいうん）	389
司禄星（しろくせい）	390
司禄星中殺（しろくせいちゅうさつ）	393
辛（しん）	394
壬（じん）	394
真気論（しんきろん）	394
辛金（しんきん）	394
親座（しんざ）	395
壬水（じんすい）	395
人体図（じんたいず）	395
信頼度占技（しんらいどせんぎ）	396
【す】	397
水火既済（すいかきさい）	397

水火の激突（すいかのげきとつ）	397
水庫（すいこ）	398
水庫破壊（すいこはかい）	398
水木世秀（すいもくせしゅう）	398
数理法（すうりほう）	398
頭脳構造（ずのうこうぞう）	398
スクランブル干支（すくらんぶるかんし）	402
【せ】	404
生貴刑（せいきけい）	404
星型家族（せいけいかぞく）	405
生月中殺（せいげつちゅうさつ）	405
正妻（せいさい）	406
生日中殺（せいじつちゅうさつ）	407
精神才能領域（せいしんさいのうりょういき）	408
西天運（せいてんうん）	408
静動論（せいどうろん）	408
生年中殺（せいねんちゅうさつ）	408
正父（せいふ）	410
正夫（せいふ）	410
正母（せいぼ）	410
石門星（せきもんせい）	410
石門星中殺（せきもんせいちゅうさつ）	414
接運（せつうん）	415
接運十現（せつうんじゅうげん）	415
絶家運（ぜっけうん）	417
絶中の最強（ぜっちゅうのさいきょう）	417
専気大運（せんきだいうん）	417

全中殺（ぜんちゅうさつ）	418
先天次元（せんてんじげん）	419
【そ】	420
相位法（そういほう）	420
蔵干（ぞうかん）	420
宗型（そうけい）	420
相剋（そうこく）	421
相剋干支（そうこくかんし）	422
相互中殺（そうごちゅうさつ）	422
相生（そうしょう）	424
相生干支（そうしょうかんし）	425
相生相剋論（そうしょうそうこくろん）	425
想定法（そうていほう）	426
燥土（そうど）	427
外天中殺（そとてんちゅうさつ）	427
【た】	428
大運（だいうん・たいうん）	428
大運単称解釈（だいうんたんしょうかいしゃく）	428
大運天中殺（だいうんてんちゅうさつ）	434
大運法（だいうんほう）	457
大運四分法（だいうんよんぶんほう）	460
体貴靈賤（たいきれいせん）	465
対冲（たいちゅう）～冲動法（ちゅうどうほう）	465
対冲従星（たいちゅうじゅうせい）	471
対冲天中殺（たいちゅうてんちゅうさつ）	471
大半会（だいはんかい）	471
高尾義政（たかおよしまさ）	473

濁水（だくすい）	473
濁星（だくせい）	474
濁星反転（だくせいはんてん）	474
多胎占技（たたいせんぎ）	474
辰（たつ）	478
辰巳天中殺（たつみてんちゅうさつ）	478
辰巳生月中殺（たつみせいげつちゅうさつ）	480
辰巳生年中殺（たつみせいねんちゅうさつ）	480
縦線（たてせん）	481
他力星（たりきせい）	482
断縁（だんえん）	482
男系家族（だんけいかぞく）	482
段差五行（だんさごぎょう）	482
断星（だんせい）	483
【ち】	484
地支（ちし）	484
地支方位（ちしほうい）	484
地衝沖（ちしょうちゅう）	487
冲積法（ちゅうせきほう）	487
冲動（ちゅうどう）	487
中年期（ちゅうねんき）	487
中庸思想（ちゅうようしそう）	488
調候守護神（ちょうこうしゅごしん）	488
調舒星（ちょうじょせい）	488
調舒星中殺（ちょうじょせいちゅうさつ）	492
調和守護神（ちょうわしゅごしん）	493
直接洩気（ちよくせつえいき）	493

【つ】	494
通干支（つうかんし）	494
通星（つうせい）	494
【て】	495
丁（てい）	495
氏運（ていうん）	495
丁火（ていか）	497
適職占技（てきしょくせんぎ）	497
天印星（てんいんせい）	506
天印星中殺（てんいんせいちゅうさつ）	507
天干（てんかん）	508
天干一気格（てんかんいきかく）	508
天干座旺（てんかんざおう）	509
天干方位（てんかんほうい）	509
天貴星（てんきせい）	512
天貴星中殺（てんきせいちゅうさつ）	514
天極星（てんきょくせい）	515
天極星中殺（てんきょくせいちゅうさつ）	517
天恍星（てんこうせい）	518
天恍星中殺（てんこうせいちゅうさつ）	520
天剋地冲（てんこくちちゅう）	520
天胡星（てんこせい）	523
天庫星（てんこせい）	525
天胡星中殺（てんこせいちゅうさつ）	527
天庫星中殺（てんこせいちゅうさつ）	528
天軸（てんじく）	528
天上害（てんじょうがい）	529

天将星（てんしょうせい）	529
天将星中殺（てんしょうせいちゅうさつ）	531
天衝沖（てんしょうちゅう）	532
天仁の型（てんじのかた）	532
天馳星（てんそうせい）	536
天馳星中殺（てんそうせいちゅうさつ）	538
伝達本能（でんたつほんのう）	539
天地人三歳理論（てんちじんさんさいりろん）	539
天智の型（てんちのかた）	539
天中殺（てんちゅうさつ）	543
天頂（てんちょう）	550
天頂害（てんちょうがい）	550
天堂星（てんどうせい）	550
天堂星中殺（てんどうせいちゅうさつ）	552
天南星（てんなんせい）	552
天南星中殺（てんなんせいちゅうさつ）	554
天報星（てんぼうせい）	555
天報星中殺（てんぼうせいちゅうさつ）	557
天礼の型（てんれいのかた）	558
天禄星（てんろくせい）	563
天禄星中殺（てんろくせいちゅうさつ）	565
【と】	566
同一中殺（どういつちゅうさつ）	566
透干（とうかん）	566
同居（どうきょ）	566
同宮（どうぐう）	567
同座運（どうざうん）	567

同座縁（どうざえん）	568
同質異現（どうしついげん）	568
東天運（とうてんうん）	568
透念気（とうねんき）	569
土金育秀（どきんいくしゅう）	569
徳人（とくじん）	569
土性は火母に従う（どせいはかぼにしたがう）	569
突発事故の占技（とっぱつじこのせんぎ）	570
土用（どよう）	573
寅（とら）	573
寅卯天中殺（とらうてんちゅうさつ）	573
寅卯生月中殺（とらうせいげつちゅうさつ）	575
寅卯生年中殺（とらうせいねんちゅうさつ）	576
酉（とり）	576
【な】	578
内次元（ないじげん）	578
中落ち運（なかおちうん）	578
納音（なっちん）	579
七殺（ななさつ）	582
南天運（なんてんうん）	582
南方害（なんぼうがい）	582
【に】	583
二害神人（にがいしんじん）	583
二行干支（にぎょうかんし）	583
二極思考（にきょくしこう）	583
二十八元（にじゅうはちげん）	584
日運天中殺（にちうんてんちゅうさつ）	585

日座干支（にちざかんし）	585
日座大運天中殺（にちざだいうんてんちゅうさつ）	585
日座中殺（にちざちゅうさつ）	585
二中殺（にちゅうさつ）	586
日干（にっかん）	587
日干干合（にっかんかんごう）	592
日干支（にっかんし）	592
日居干支（にっきよかんし）	592
日居大運天中殺（にっきよだいうんてんちゅうさつ）	592
日居中殺（にっきよちゅうさつ）	593
日支（にっし）	593
日支暗合（にっしあんごう）	593
二連変化（にれんへんか・にれんへんげ）	593
人間小宇宙論（にんげんしょううちゅうろん）	593
【ね】	595
子（ね）	595
子丑天中殺（ねうしてんちゅうさつ）	595
子丑生月中殺（ねうしせいげつちゅうさつ）	596
子丑生年中殺（ねうしせいねんちゅうさつ）	597
年運（ねんうん）	598
年運天中殺（ねんうんてんちゅうさつ）	598
年干（ねんかん）	602
年干干合（ねんかんかんごう）	602
年干支（ねんかんし）	603
年支（ねんし）	603
年支暗合（ねんしあんごう）	603
【は】	604

破（は）・破法（はほう）	604
配偶者透干（はいぐうしゃとうかん）	605
破格（はかく）	606
八門法（はちもんほう）	606
八作法（はっさくほう）	613
母座（ははざ）	615
はみ出し天中殺（はみだしてんちゅうさつ）	615
バランス守護神（ばらんすしゅごしん）	616
半会（はんかい）	616
反弓（はんきゅう）	618
伴星（はんせい）	618
【ひ】	621
尾型の運（びけいのうん）	621
畢型の運（ひつけいのうん）	621
未（ひつじ）	622
飛天型運型（ひてんがたうんけい）	623
病占（びょうせん）	623
飛龍運（ひりゅううん）	623
比和（ひわ）	624
貧合（ひんごう）	625
【ふ】	626
福寿禄官印（ふくじゅろくかんいん）	626
夫座（ふざ）	626
父座（ふざ）	626
夫座崩壊の型（ふざほうかいのかた）	626
夫星（ふせい）	626
父星多過（ふせいたか）	626

夫星多過（ふせいたか）	627
部分次元（ぶぶんじげん）	627
分身律（ぶんしんりつ）	631
【へ】	633
丙（へい）	633
丙火（へいか）	633
平衡法（へいこうほう）	633
平面五行説（へいめんごぎょうせつ）	634
壁型の運（へきけいのうん）	634
変化帝王（へんかていおう）	635
変剋律（へんこくりつ）	635
偏妻（へんさい）	640
変身中殺（へんしんちゅうさつ）	640
偏星（へんせい）	641
偏夫（へんぶ）	642
偏父（へんぶ）	642
偏母（へんぼ）	642
【ほ】	643
戊（ぼ）	643
方位守護神（ほういしゅごしん）	643
房運の型（ぼううんのかた）	643
鳳閣星（ほうかくせい）	644
鳳閣星中殺（ほうかくせいちゅうさつ）	647
昴型の運（ぼうけいのうん）	648
方三位（ほうさんい）	650
北天運（ほくてんうん）	652
母星多過（ぼせいたか）	652

戊土 (ぼど)	652
【ま】	654
埋金 (まいきん)	654
未代運 (まつだいうん)	654
【み】	655
巳 (み)	655
身旺 (みおう)	655
身強 (みきょう)	655
身弱 (みじゃく)	656
身中 (みちゅう)	657
【む】	658
無意識に働く想念 (むいしきにはたらくそうねん)	658
無情剋 (むじょうこく)	658
無有願論 (むゆうがんろん)	658
【も】	659
木火通明 (もっかつうめい)	659
【よ】	660
陽干 (ようかん)	660
陽気 (ようき)	660
陽支 (ようし)	660
陽心 (ようしん)	660
陽生 (ようせい)	660
陽占 (ようせん)	660
陽占気図法 (ようせんきずほう)	660
陽占天中殺 (ようせんてんちゅうさつ)	661
陽占法 (ようせんほう)	661
陽転 (ようてん)	684
陽道占技 (ようどうせんぎ)	684

陽遁害（ようとんがい）	684
陽鍛（ようれん）	684
横線（よこせん）	684
喜び事の占技（よろこびごとのせんぎ）	685
四位中殺（よんいちゅうさつ）	686
四庫（よんこ）	687
四庫对冲（よんこたいちゅう）	687
四正（よんせい）	687
四勢（よんせい）	687
四正对冲（よんせいたいちゅう）	688
四勢对冲（よんせいたいちゅう）	688
四大位相法（よんだいいそうほう）	688
四柱法（よんちゅうほう）	688
四天運（よんてんうん）	689
四土（よんど）	689
【ら】	690
羅状干支（らじょうかんし）	690
【り】	691
離干法（りかんほう）	691
六道完備（りくどうかんび）	691
立型（りっけい）	691
立体五行図（りったいごぎょうず）	691
立体五行説（りったいごぎょうせつ）	692
律音（りっちん）	693
留型家族（りゅうけいかぞく）	696
龍高星（りゅうこうせい）	697
龍高星中殺（りゅうこうせいちゅうさつ）	700

流体占技（りゅうたいせんぎ）	701
領域占技（りょういきせんぎ）	704
両親透干（りょうしんとうかん）	708
【る】	710
婁型の運（るけいのうん）	710
【れ】	711
靈貴体賤（れいきたいせん）	711
連天剋地冲運（れんてんこくちちゅううん）	711
連唐干支（れんとうかんし）	712
【ろ】	715
六十干支（ろくじゅっかんし）	715
六神獸（ろくしんじゅう）	746
六親法（ろくしんほう）	747
禄存星（ろくぞんせい）	764
禄存星中殺（ろくぞんせいちゅうさつ）	767
六氣（ろっき）	768
算定上の図表	771
あとがき	774

本書のご利用について

○○○○○～五十音別の算命学用語

○○○○○～その項目のテーマに対して必要な詳細表記

★実占参考～その項目に対しての実占的な活用例

「⇒」～参照～関連事項を参照のためのガイド

「⇔」～反対の意味になる用語や、対義語のためのガイド

◇◇～簡単な星占い

「＝」～類似項目のためのガイド

図表) 十大主星表・十二大従星表・天中殺表一六十干支表・二十八元一歳干表
位相法表(刑・沖・破・害表) 巻末に収録。

【あ】

上羽の型（あげはのかた）

○夫婦の相性の1つで妻が夫の運をすごい勢いで上げて行く組み合わせを言う。

「条件」

○妻が最身強+夫が最身弱の組み合わせで妻の方に大運天中殺がある事。

○特に3,4旬に正規の大運天中殺がある方が効き目が大きい。

○妻は働かずに家庭に入り夫のみが働く形。

「現象」

○妻の大運天中殺現象が夫に移行する事で現実運を上げる事になる。

○妻の運気で現実運の上昇があるために離婚をすると夫の運気は急落して行く。

○俗に“魔女の愛”と言い、もし離婚する場合でも生涯妻の生活の面倒を見る必要があり運気上、妻からは逃げられない形になる。

○夫自身は現実運との引き換えにより体力消耗が大きいために、大運天中殺の終了時には特に体調に注意が必要になる。

跡取り天中殺（あととりてんちゅうさつ）

○陰占法。宿命に持つ通常天中殺の中で寅卯天中殺と申酉天中殺を意味し、家系の流れを継承する天中殺範囲を持つ後継運を言う。⇒天中殺

○社会上であっても人の業績や、組織の継承者になる要素を持つ。

⇔はみ出し天中殺

争いごと占技（あらそいごとせんぎ）

○陰道占技の1種。争いごとの好機を考える占技。⇒陰道占技

「手順」

○争いの中身を公的なものと私的なものがあるとして分けて考える。

公的な争い

○社会生活上の争い事の場合は必ず勝つ事を目的にし、勝ち目がない時には避ける事が鉄則になる。

○結果が目的に合うためには争いを起こす時期を考える必要がある。

○陽占上では車騎星・牽牛星の時が有利になり、龍高星・玉堂星は冷静合理的な対応が出来る時。禄存星・司禄星は戦う意識を強める時になる。

「条件」

①公の戦いは東方行動なのでスタートが東方年支の位相法が半会・支合である事。方三位は使わない。年運・大運を使用する。

- 東方支合のスタートは手堅い前進をして行く時になる。⇒支合
- 東方半会のスタートは、次元を変えて格上りの展開を望める時になる。
例えば裁判において地方裁判所から高等裁判所、最高裁判所へと進む可能性があるために予め展開に備える必要がある。⇒半会
- 方三位は同次元融合で平面的な広がりを意味し、争いが拡大されて行くだけで收拾がつかなくなる恐れがあり不可になる。⇒方三位
- ②スタートの年が西方対沖は除く。特に大運・年運に重なる時には不可になる。
- ③年天中殺の時期を除く事。
- ④大運天中殺の場合には終了時の5年前は避ける事。
- ③④は有利な展開にならない事を意味する。
ただし大運天中殺の陽転中の15年位までは戦いに強い時期になる。
- ⑤天中殺中では弁護士を変えない事。
- 争いが長引き年天中殺や大運天中殺が終わる5年間を通過する事になったとしても最初の弁護士は変えない事。変更は天中殺終了後にする。
- 天中殺期間中に決着すると不利な結果になるために状態を変えずに持ち越す必要がある。
- ⑥好機の効力は8年間を限度とするために8年の間に結果を出す事。

私的な戦い

- 私的世界の個人間の争い事の場合は子孫の代までしこりを残す事になるために最終決着として妥協を伴う和解を前提にして戦う。

「条件」

- 東方が半会・支合の年のスタートにする事。
- 天中殺は避ける事。
- 私的な争いの場合には西方が対沖であってもスタートが可能と捉える。

暗合 (あんごう)

- 陰占法。陰占配列内で天干と蔵干が干合する現象を言う。⇒干合
- さらに蔵干内の十干同士が干合する形も暗合と言う。

日干と月支の暗合

- 日干と月支蔵干の五行が暗合する形。

例) 甲 ○ ○
○ 丑 ○
己

- この例題は日干甲木に対し月支の己土と暗合する。

「現象」

- 月支は自分の家系を意味するために家系や実家から離れにくい事を意味する。

○女性の場合は力のある家庭に生まれた事を意味し、養子取りや相手が養子的な結婚になりやすい。

○男性の場合は配偶者が自分の家系の中心的人物になって行く要素を持つ。

日干と年支の暗合

○日干と年支蔵干の五行が暗合する形。

例) 乙 ○ ○
○ ○ 申
庚

○この例題は日干乙木に対し年支蔵干本元の庚金と暗合している。

「現象」

○年支蔵干の本元は母座になるために母親との密着度が強く影響を受けやすい。母親と同居する形も入る。

○さらに東方は他人の世界なので他人からも影響され易くお人好しの、信念がない人に見られる事もある。この場合には本元以外の暗合も可。

○家系の流れに絡まない形になるために、身内に関わらない自由な結婚をしやすい。⇒六親法・母座

日干と日支の暗合

○日干と日支蔵干の五行が暗合する形。

例) 丁 ○ ○
亥 ○ ○
壬

○この例題は日干丁火に対し、日支蔵干の壬水と暗合している。

「現象」

○日支座下に居る人間との融合性があるために、特に配偶者と一体感が強く、配偶者からの影響度が大きくなる。

「暗合干支」

○日支暗合は日干支に限定されるために、暗合干支のみに現象が起こる。

5 番干支戊辰・17 番干支庚辰・18 番干支辛巳・19 番干支壬午

23 番干支丙戌・24 番干支丁亥・25 番干支戊子・30 番干支癸巳

31 番干支甲午・36 番干支己亥・42 番干支乙巳・59 番干支壬戌

○暗合干支は上記の 12 種類になる。

【い】

亥 (い)

- 十二支の1種で時間を表す。五行は水性の陰。方向は北北西。月は11月。季節は初冬を表す。五本能の中の習得本能。蠍座。
- ホネヘンを付けると「骸」になるように骨組みを意味する。
- 又、分解するとナベブタの下に人が複数入っている図で、キヘンを付けると「核」になるように陰陽のエネルギーにより何かを孕むという意味も持つ。
- 水性の旺地は知力を意味し物事の工夫や企画力に優れる。
- 亥水の陰の質は内外ともに困難に耐える忍耐力を持ち、粘り強く智慧により乗り切っていく。

異気集合論 (いきしゅうごうろん)

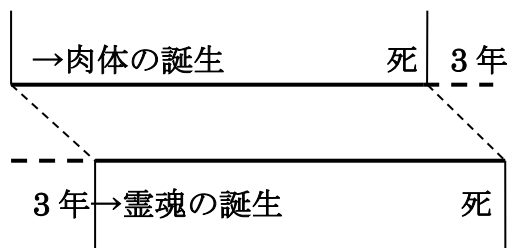
- 異気が集合すると書くように異なった気が一カ所に集まる事でそこから新たな運命が展開すると言う理論の事を言う。
- この発想により人間の霊魂の仕組みを論じる事が出来る。
- 霊魂とは固有に持つ固定された1つのもので構成されているものではなく、数種の異なった目に見えない「気」と言うエネルギーが肉体の場所を得て、その中に集まり融合しているものと捉える。
- さらにそれらの1つ1つには異なったエネルギーとパワーを所有しているはずと捉える。

方縦論 (ほうじゅうろん)

「肉体と霊魂の関係の捉え方」

人間 ← 霊魂 (陽)
 ↓ 肉体 (陰)

- 一極二元論により、人間が生きていると言う事は霊魂と肉体の融合であり、死とはこの二つのエネルギーが分離する事を意味する。⇒一極二元論
- そのために肉体に霊魂が宿り、その二つが融合したものを「命」と捉える。



- 人間が誕生した時点では肉体はあるがまだ霊魂は作られていない。

- 霊魂は肉体の誕生から3年ほど遅れて誕生する。
 - 霊魂は肉体の中に存在し誕生時にはすでに、宿核と言う真珠をあこや貝の中で作るために核を入れるような形の核があり、肉体を通して入って来た「気」と言うエネルギーがその周りを取り巻いて行くと捉える。
 - その気は自然環境から来る気や、自分に対して向けられる喜怒哀楽や、愛情の気、憎しみの気などを含めた、天の気、地の気、人の気の異気を受ける事により、3才ほど遅れて誕生する事になる。⇒天地人三歳理論
 - この3年間のズレにより、死を迎える際にも肉体の死に比して3年遅れる所から三回忌の発想が生まれた。
 - 霊魂エネルギーは、死を迎える事により肉体と霊魂を繋いでいた引力エネルギーが無の状態になり肉体から離れる。
 - 肉体は朽ちて地に帰り、霊魂の気は分離して宇宙空間に帰って行く。
 - さらに再度この世に生まれ出て来る時には、その分離して宇宙空間に浮遊している目に見えない原子が、人間の肉体の中に別々の異気として入り込み融合する事で、又別個の新しいエネルギー体を生み出すと捉える。
 - 十二大従星の理論はこの輪廻転生の循環を星の意味に置き換えている。
- 注) 3年間の捉え方は、数え年換算になるために、実質的には丸2年間の期間になる。3回忌が2年後の3年「目」に行われるように、数え年では生まれた年がすでに1才と捉える所から来ている。

異座運 (いざうん)

- 本人が持つ結婚運を見るための占技上の捉え方。
- 異座の座は西方の座である妻座・夫座を意味し、その配偶者の座のあり方として陰占と陽占の条件が異質になる形を言う⇔同座運

「条件①」

- 宿命陰占の月支と日支の関係が散法になり、宿命陽占の主星と西方星が相生になる形。

例①

戊	○	○		
子	未	○	司禄星	牽牛星
癸	乙			

- ①の例題は、陰占では日支と月支が子未の害になり陽占では西方星と主星が司禄星→牽牛星の相生になるために異座運になる。

「条件②」

- 宿命陰占の月支と日支の関係が合法か無条になり、宿命陽占の主星と西方星が相剋か比和になる形。

例② 戊 ○ ○
 子 丑 ○
 癸 己

司祿星	石門星	

○②の例題は、陰占では日支と月支が子丑の支合になり、陽占では主星と西方星が石門星剋司祿星の相剋になるために異座運になる。

「現象」

○どちらも意識と行動が違うために本人が持つ結婚運は苦勞が多い配列となる。

異座縁 (いざえん)

○異座運を持つ者同士の結婚の形を異座縁と言う⇔同座縁

例1) 宿命の陰占の月支と日支が散法で陽占が相生の異座運同士の形
 =表面的には不仲に見えるが内面では理解しあっている関係になる。

例2) 宿命の陰占の月支と日支が合法で、陽占が相剋か比和の異座運同士の形
 =表面的には仲が良く見えるが内面では融合しない関係になる。

異次元不渡りの法 (いじげんふわたりのほう)

- 道教の言葉、次元が違う者は一緒になる事はない。出会わない。
- 出会うと言う事は同レベルの要素がある事になる。一部分が共通の場合もあるが全くレベルが異なる場合には出会わない事を言う。
- 次元とは、形而上の精神的な意識の高低を意味し、上下の関係として教育をする場合は、その意識が高い人が低い人にしか行えないと捉える。
- 転じて本来は出会わないはずの者同士が、天中殺現象や、後天運の流れにより一時的に引き合う事がある。

異常干支 (いじょうかんし)

○六十干支の中の13種類の干支を言う。

11 番干支甲戌・12 番干支乙亥・18 番干支辛巳・19 番干支壬午

23 番干支丙戌・24 番干支丁亥・25 番干支戊子・30 番干支癸巳

35 番干支戊戌・36 番干支己亥・37 番干支庚子・48 番干支辛亥・54 番干支丁巳

「特色」

- 特殊な感性を持ちその干支エネルギーの稼動によっては特殊な能力や、才能として現れる事があるが、反対に異質な性格や行動力として稼働をする事で奇人変人的にみられる事もある。
- 思考の偏りは先天的に体質的な弱さを持ちやすい。⇒六十干支・変剋律

「種類」

○環境により異常性が出る「通常異常干支」と、先天的に持つ気質から出る